

# 留学生日本語教育の歴史

## 日本語・日本事情 (1)

大槻和夫

正確な歴史記述であるべきところを、記憶に基づく個人的な回想記になってしまうことを、初めにお詫びしておきたい。

1972年(昭和47)ごろのことであったかと記憶している。心理学科の先生から、留学生に個人指導の形で日本語の指導をしてほしいと依頼され、週2時間程度、教官室で日本語の個人教授をすることになった。その後工学部の先生からも依頼があり、ヴェトナムからの留学生に日本語を教えることになった。それより10年ほど以前に、アメリカ人に日本語を教えた経験があり、文部省だか文化庁だかの主催で行われた日本語教育研修会にも出席していたので、「できない」とも言えず、しかたなく引き受けたのだった。

気がついてみると、そのころから留学生の数が次第に増えてきていた。留学生の中には日本語を全く修得していない者もあり、留学生に対して日本語の指導をしてほしいという要望は、学内でも高まってきていた。そういう要望を受けて、学生部では、課外の指導として、留学生に対する日本語の指導を企画し、私にそれを担当してほしいという依頼があった。専門家でもない私がそれを担当するのは不安でもあったが、学内事情を考慮して、週2時間の課外指導を引き受けることにした。

実際に始めてみてまず困ったのは、学生の日本語修得程度の差が極めて大きいことであった。それに、漢字圏からの留学生と非漢字圏の留学生とでは、文字学習の困難度が全く異なる。また、母語が異なると、日本語学習の困難点も違ってくる。それに留学生の日本語学習に対する要求も種々様々であった。こういう多様な留学生に対して、同一教材を用いて一斉学習を行うことは不可能といってもよい。

そこで、翌年からは留学生を初級、中級、上級の三つに分け、それぞれ週2時間の課外授業を行うことにした。これでいくらか指導しやすくなったが、今度は私のほうの負担が大変になった。火曜日は日本語指導の日と決めてはいたが、正規の授業のほかに専門外の授業が3コマ増えたのだから、やはり過重負担となった。特に初級では、欧米系の学生は英語で次々に質問をするので、これに英語で応答しなければならず、これには閉口した。

授業といっても、お粗末なものであった。当時の大学には教科書さえそろっていなかった。視聴覚教材などはもちろん皆無であった。いくつかの教科書を個人的に購入して、その中からよさそうな教科書を選んで使用したが、教科書どおりに進めていく

授業というのはこちらが面白くないので、いろいろなものから教材になりそうな材料を選んできて教材化した。しかし、何を、どんな順序で指導すればよいか、またどういいう教授法が留学生に適しているのか、自信のない手探りの授業だった。日本語を正確に分かりやすく説明することがいかに難しいかということも痛感した。日本語の授業は、私にとって日本語を改めて見つめ直すいい機会になったことも事実であり、ここでも「教えることは学ぶこと」だと実感させられた。

いつだったか、文部省から係官が来られて、留学生指導に関する問題点を話し合う中国四国の大学関係者の会議が開かれた。私は、率直に実情を伝え、問題点克服の方策を尋ねた。その時には、留学生別科を設けることも考えられるということであった。

そのころ、奥田邦男氏がアメリカから帰国し、広島女学院大学に勤務していた。奥田氏は、この方面の実績もあり、もちろん英語はペラペラだった。奥田氏は私の大学時代の同級生でもあったので、私は奥田氏に日本語の指導を依頼してほしい旨申し出た。

学生部でも、留学生の受け入れを積極的に進める方向での検討が進んでいたとみえて、この申し出を認める方向で事が進んでいった。学生部長から、この授業を大学の正規の授業として開講するようにしたいという話があり、その授業を教育学部で開講するようにしてはどうか、という提案があった。教育学部では、それをどの講座に所属させるかについて議論があり、結論的には国語科教育講座の一部に加えるということになった。いわば国語科教育講座が軒を貸す形で日本語・日本事情の授業科目が設けられることになったのである。ここで本学における日本語・日本事情の前史は終わりを告げ、正史はここから始まることとなる。

以上の記述は全て記憶に基づいているため、事実と異なる点があるかもしれないと恐れている。もし資料をお持ちの方があれば、それに基づいてご批評くださるようお願い申し上げたい。

## 日本語・日本事情 (2)

浮 田 三 郎

創刊号でも、「日本語・日本事情の現状」の中で、当研究室の歴史的なことに関して若干述べたが、今回は、まず、大槻和夫先生に日本語・日本事情の授業開設前後の御苦労などを述べていただいた。

日本語・日本事情のポストが広島大学に設置されることになった時、どの学部がこれを引き受けるか、どのような形で設置するかなど色々と問題があったようである。最初は積極的な引き受け学部が現れなかったようであるが、結局落ち着いたところが現在の教育学部教科教育学科の国語教育の中だったのである（当ポストがここに設置されることになった過程には、またいくつかのエピソードがある）。

そして、そうなったのには、勿論そのような状況があったからであろう。即ち、教育学部では、当時ようやく増加しだした留学生達に正規の授業外で日本語教育を担当し始められたのが、国語教育の大槻和夫先生だったからである。御専門の経験を生かしてのこととは言え、色々な御苦労があったようである。

このような状況のもとで、日本語・日本事情は、昭和50年度より定員1を確保して、国語教育の講座の中に軒先を借りるような形で発足したのである。そのポストに最初に赴任されたのが奥田邦男先生であり、それを助手の立場で大いに支えられたのが金本節子先生であった。今は両先生とも部所を移動されそれぞれご活躍中である。

こうして、日本語・日本事情を取り巻く日本語教育は、このような夜明けの時代から十余年の間に、かなりの進展を遂げている。それには、これらの諸先生がたその外の関係者の御苦労があったればこそである。それはもうくどくどと述べるには及ぶまい。

その代わり、まず広島大学に在籍した外国人留学生数と彼らの出身国の移り変わりを学生部の留学生係の資料を基に簡単な表にしてみよう。また、日本語・日本事情発足以後の専任スタッフと非常勤講師の数及び授業内容を学生便覧などを利用し、簡単な表を作成して、そこからその発展を読み取ってみよう。

\*広島大学に在籍した外国人留学生数（昭和25年～平成元年）

広島大学に在籍した外国人留学生数の移り変わりは、学生部の留学生係の資料をお借りして、昭和25年から平成元年までの5月1日現在の外国人留学生の在籍数を載せ

てみよう。この表から、ここ数年で外国人留学生の数が飛躍的に伸びていることが分

〔表1〕 外国人留

		25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	
総合科学部	学部生																		
	大学院生																		
文学部	学部生	2	5	5	4	3	3	3	1		0	1	1	1	1	0	0	0	
	大学院生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
教育学部	学部生			1	1	1		0	0									0	0
	大学院生			0	0	0		1	1									0	0
東雲分校	学部生			0	0	0		0	0									1	1
	大学院生																		
福山分校	学部生																		
	大学院生																		
学校教育学部	学部生																		
	大学院生																		
法学部	学部生																		
	大学院生																		
法学部第Ⅱ部	学部生																		
	大学院生																		
経済学部	学部生																		
	大学院生																		
経済学部第Ⅱ部	学部生																		
	大学院生																		
政経学部	学部生	1	1	1	1				1	1			1	2	2	3	2	1	
	大学院生	0	0	0	0				0	0			0	0	0	0	0	0	
政経学部第Ⅱ部	学部生	1	0						0	0			0	0					
	大学院生																		
理学部	学部生	3	4	5	5	2	1					1	1	1	1	0	0	0	
	大学院生	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	
医学部	学部生	1	0	0	0	0	0					0	0	0	0	2	2	1	
	大学院生		1	1	2	3	3	3	1	2	2	2	3	5	5	5	5	5	
歯学部	学部生			0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	
	大学院生			0	0	0	0		0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	
工学部	学部生	1	3	4	4	3	1	1	2	4	4	6	8	8	10	10	8		
	大学院生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
生物生産学部	学部生	1	0												2	1	0	1	
	大学院生																		
水産畜産学部	学部生						1	1	1			1	1	1	1				
	大学院生						0	0	0	0		0	0	0	0				
教養部	学部生						0	0	0			0	0	0	0				
	大学院生																		
原爆放射能 医学研究所	学部生																		
	大学院生																		
理論物理学 研究所	学部生																		
	大学院生																		
計	学部生	2	10	15	16	16	13	12	9	7	8	10	13	16	18	18	17	14	
	大学院生	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	
日本語研 修生	学部生	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3	4	3	4	
	大学院生																		
合計		2	13	15	16	16	13	13	10	7	9	10	13	18	21	23	22	19	



〔表2〕 所属別外国人留学生数

(平成元年11月1日現在)

所属	区分	学部学生			大学院学生						研究生			日本語研修		計	
		国費	政府	私費	M			D			国費	政府	私費	国費	政府		
					国費	政府	私費	国費	政府	私費							
1	総合科学部	2(2)										3(1)		23(9)			28(12)
2	文学部													5(1)			5(1)
3	教育学部			1								40(23)		26(18)			67(41)
4	学校教育学部			1(1)								11(6)		7(6)			19(13)
5	法学部											1		6(2)			7(2)
6	経済学部	1(1)	2	7(3)								2		19(6)			31(10)
7	理学部											2		3(2)			5(2)
8	医学部医学科											2		2(2)			4(2)
9	医学部総合薬学科													2(1)			2(1)
10	歯学部											2(2)		2			4(2)
11	工学部	2	6(2)	6								14	7	16(5)			51(7)
12	生物生産学部											3(2)		6(3)			9(5)
13	原医研											1					1
14	文学研究科				3(1)			1	1	1							6(1)
15	教育学研究科				1(1)		4(1)	4	1	7							17(2)
16	学校教育研究科				1(1)		4(3)										5(4)
17	社会科学研究科(複合)				3(3)		7(2)	1(1)		2(2)							13(8)
18	社会科学研究科(法学)						4(1)			2							6(1)
19	社会科学研究科(経済)				3		5(1)	4(3)	1								13(4)
20	理学研究科				3	1	2	8(3)	3	2							19(3)
21	医学系研究科(医学)							12(2)		2(2)							14(4)
22	医学系研究科(薬学)				1				1(1)								2(1)
23	歯学研究科							8									8
24	工学研究科(工学)				8(1)	4(1)	9(6)	22	7(2)	9(2)							59(12)
25	工学研究科(総合)				1		1	3									5
26	生物圏科学研究科(複合)				1(1)			2(1)		1							4(2)
27	生物圏科学研究科(生生)				9	3(1)	1(1)	7(2)	1								21(4)
28	日本語研修生															18(2)	18(2)
計		5(3)	8(2)	15(4)	34(8)	8(2)	37(15)	72(12)	15(3)	26(6)		81(34)	7	117(55)	18(2)		443(146)
					79(25)			113(21)									
		28(9)			192(46)						205(89)			18(2)			

( )内は女子で内数

M: 修士課程(博士課程前期)

D: 博士課程(博士課程後期)

〔表3〕 出身国（地域）別外国人留学生数

（平成元年11月1日現在）

区分 出身国(地域)	学部学生			大学院学生						研究生			日本語研修		計
	国費	政府	私費	M			D			国費	政府	私費	国費	政府	
				国費	政府	私費	国費	政府	私費						
1 イ ラ ク													1		1
2 イ ラ ン				1			2			1		1(1)	1		6(1)
3 イ ン ド				1			3			1		1(1)			6(1)
4 イ ン ド ネ シ ア	1	1(1)		4	5(1)	1	10	1	1	6(1)	2	2			34(3)
5 サ ウ ジ ア ラ ビ ア													1		1
6 シ リ ア				1											1
7 シ ン ガ ポ ー ル										1(1)					1(1)
8 ス リ ラ ン カ				2			1					1(1)			4(1)
9 タ イ				1(1)		1(1)	3(3)			9(6)		1(1)			15(12)
10 大 韓 民 国			3(1)	1(1)		5	9		7	13(2)		20(6)			58(10)
11 台 湾			1			7(5)			6(2)			11(7)			25(14)
12 中 華 人 民 共 和 国			2	10(4)	3(1)	18(8)	27(6)	14(3)	9(3)	10(5)	5	65(31)			163(61)
13 バ ン グ ラ デ シ ュ				1		1(1)	6(1)		1(1)	3		2	1		15(3)
14 パ キ ス タ ン							1			1			2(1)		4(1)
15 フィ リ ピ ン				1		1	1			3(3)		1(1)	1(1)		8(5)
16 香 港										1(1)					1(1)
17 マ レ ー シ ア	3(1)	7(2)	8(2)	4(2)		2				3(2)			1		28(9)
18 ミ ャ ン マ ー							1								1
19 ア イ ス ラ ン ド													1		1
20 イ ギ リ ス										2					2
21 オ ー ス ト リ ア												1			1
22 オ ラ ン ダ										2(2)					2(2)
23 チェコスロバキア				1											1
24 西 ド イ ツ												1(1)			1(1)
25 ハ ン ガ リ ー										1					1
26 フ ラ ン ス										2(1)			1		3(1)
27 ブ ル ガ リ ア										1			1		2
28 ポ ー ラ ン ド										2(1)					2(1)
29 ポ ル ト ガ ル										1					1
30 ソ 連										1(1)					1(1)
31 ア メ リ カ 合 衆 国				1		1				4(2)		6(3)			12(5)
32 アルゼンチン	1(1)									1(1)		1(1)			3(3)
33 コ ロ ン ビ ア							1								1
34 パ ラ グ ア イ										1(1)					1(1)
35 ブ ラ ジ ル									1	3(2)		1	4		9(2)
36 ベ ル ー							1(1)								1(1)
37 メ キ シ コ	1(1)						1			2		1(1)			5(2)
38 エ ジ プ ト							2(1)		1	2		1	1		7(1)
39 ガ ー ナ				2			1								3
40 ケ ニ ア				1						1(1)					2(1)
41 ス ー ダ ン				1									1		2
42 セ ネ ガ ル							1								1
43 タ ン ザ ニ ア							1			1(1)					2(1)
44 チ ュ ニ ジ ア										1					1
45 オ ー ス ト ラ リ ア													1		1
46 ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド				1						1					2
計	5(3)	8(2)	15(4)	34(8)	8(2)	37(15)	72(12)	15(3)	26(6)	81(34)	7	117(55)	18(2)		443(146)
	28(9)			192(46)						205(89)			18(2)		

( )内は女子で内数

M：修士課程（博士課程前期）

D：博士課程（博士課程後期）





(昭和56年5月1日現在)

(昭和57年5月1日現在)

(昭和58年5月1日現在)

区分 国籍	計	区分 国籍	計	区分 国籍	計	
						1
2	イ ン ド ネ シ ア	21 (1)	中 国	17 (2)	中 国	31 (4)
3	ス リ ラ ン カ	1	中 国 ( 台 湾 )	26 (2)	中 国 ( 台 湾 )	25 (4)
4	タ イ	10 (5)	香 港	1 (1)	ベ ト ナ ム	1
5	大 韓 民 国	7 (2)	ベ ト ナ ム	1	タ イ	9 (5)
6	中 国	14 (2)	タ イ	6 (1)	マ レ ー シ ア	3 (1)
7	中 国 ( 台 湾 )	28 (5)	パ キ ス タ ン	3	イ ン ド ネ シ ア	22 (2)
8	パ キ ス タ ン	3	バ ン グ ラ デ シ ュ	4	フ ィ リ ピ ン	2 (1)
9	バ ン グ ラ デ シ ュ	5	ス リ ラ ン カ	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	5
10	フ ィ リ ピ ン	1	イ ラ ン	3	イ ン ド	2
11	ベ ト ナ ム	2	レ バ ノ ン	1	パ キ ス タ ン	1
12	香 港	1 (1)	フ ィ リ ピ ン	1	ス リ ラ ン カ	2
13	マ レ ー シ ア	5	イ ン ド ネ シ ア	20 (1)	イ ラ ン	2
14	レ バ ノ ン	1	マ レ ー シ ア	4	ユ ー ゴ ス ラ ビ ア	1 (1)
15	エ ジ プ ト	5	ト ル コ	1	ポ ー ラ ン ド	1
16	イ タ リ ア	1	イ タ リ ア	1	西 ド イ ツ	2 (2)
17	西 ド イ ツ	1	ポ ー ラ ン ド	1	イ タ リ ア	1
18	ポ ー ラ ン ド	1	西 ド イ ツ	1 (1)	イ ギ リ ス	2 (2)
19	ア メ リ カ	5 (1)	ア メ リ カ	3	エ ジ プ ト	1
20	パ ナ マ	2 (1)	メ キ シ コ	6 (3)	チ ュ ニ ジ ア	1 (1)
21	ブ ラ ジ ル	2 (1)	ド ミ ニ カ	1 (1)	ナ イ ジ エ リ ア	1
22	ペ ル ー	2	パ ナ マ	2 (1)	ケ ニ ア	1
23	メ キ シ コ	2 (1)	ブ ラ ジ ル	3 (3)	タ ン ザ ニ ア	4
24			ペ ル ー	1 (1)	ア メ リ カ	3 (1)
25			エ ジ プ ト	5	メ キ シ コ	1
26			ケ ニ ア	1	パ ナ マ	1 (1)
27			タ ン ザ ニ ア	1	ブ ラ ジ ル	4 (3)
28			イ ギ リ ス	2 (1)		
29			ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド	1 (1)		
30						
	計	122(20)	計	128(22)	計	150(32)

( )は女子で内数

(昭和59年5月1日現在)

(昭和60年5月1日現在)

(昭和61年5月1日現在)

	区分		区分		区分		日本語 研 修	計
	国籍	計	国籍	計	国籍	計		
1	大韓民国	12 (2)	大韓民国	18 (4)	大韓民国			29 (5)
2	中国	38 (6)	中国	50 (8)	中国			69(17)
3	中国(台湾)	22 (3)	香港	1	中国(台湾)			14 (3)
4	ベトナム	1	中国(台湾)	20 (4)	香港			1
5	タイ	7 (1)	ベトナム	1	タイ	2 (1)		9 (6)
6	マレーシア	10 (2)	タイ	5 (2)	マレーシア			15 (2)
7	インドネシア	22 (1)	マレーシア	11 (2)	インドネシア	3		19 (1)
8	フィリピン	8 (6)	インドネシア	19 (1)	フィリピン	2		3 (4)
9	バングラデシュ	8	フィリピン	6 (4)	ビルマ			2 (2)
10	ビルマ	1 (1)	バングラデシュ	9	ベトナム			1 (1)
11	インド	3 (1)	ビルマ	3	インド			5 (1)
12	パキスタン	1	インド	5 (1)	バングラデシュ	1		9
13	スリランカ	2	パキスタン	1	パキスタン			2
14	イラン	3	スリランカ	1	ネパール			1
15	トルコ	1 (1)	イラン	3	スリランカ			2
16	イスラエル	1	シリア	1	イラン			4
17	ユーゴスラビア	1	西ドイツ	1	イスラエル	1		1
18	西ドイツ	1 (1)	ユーゴスラビア	1	トルコ			1
19	イタリア	1	イギリス	2 (1)	西ドイツ			1
20	イギリス	2 (2)	エジプト	2	イギリス			4 (1)
21	スペイン	1	チュニジア	1 (1)	ポーランド			2
22	エジプト	3	タンザニア	1	ブルガリア			1 (1)
23	チュニジア	1 (1)	アメリカ	1 (1)	ギリシア	1		1
24	ナイジェリア	1	メキシコ	3 (1)	エジプト	2		4
25	タンザニア	1	パナマ	1	チュニジア			1 (1)
26	カナダ	1	コロンビア	1	エチオピア	1		1
27	アメリカ	4 (2)	ペルー	1 (1)	ケニア	1		1
28	メキシコ	2 (2)	ブラジル	7 (3)	タンザニア			1
29	パナマ	1	オーストラリア	1 (1)	ガーナ			1
30	ペルー	1	ニュージーランド	2 (1)	カナダ			1
31	ブラジル	5 (1)			アメリカ			3 (2)
32	ニュージーランド	2 (1)			メキシコ			3 (2)
33					コロンビア			1
34					ペルー			1
35					チリ			1 (1)
36					ブラジル			8 (2)
37					アルゼンチン			1 (1)
38					オーストラリア			1 (1)
39					ニュージーランド	1		3 (1)
40								
	計	168(34)	計	179(36)	計	15 (1)		233(55)

( )は女子で内数

(昭和62年5月1日現在)

(昭和63年5月1日現在)

(平成元年5月1日現在)

区分 国籍	日研 本語修	計	区分 国籍	日本語修		計	区分 国籍	日本語修		計	
				国費	政府			国費	政府		
1	イ ラ ン	1	4	イ ラ ン			4	イ ラ ン	1		5 (1)
2	イ ン ド		3	イ ン ド			5	イ ン ド			6 (4)
3	インドネシア	6(1)	19(2)	インドネシア	2	2	34 (4)	インドネシア	2	4	34
4	スリランカ	1(1)	4(1)	シ リ ア	1		1	シ リ ア			1 (1)
5	タ イ	1(1)	10(7)	スリランカ	1		3	スリランカ			5 (12)
6	大韓民国		36(3)	タ イ	2(1)		17 (12)	タ イ			13 (8)
7	台 湾		22(7)	大韓民国			35 (3)	大 華 民 国			41 (14)
8	中華人民共和国		91(29)	台 湾			24 (9)	台 湾			25 (47)
9	ネ パ ール		1	中華人民共和国			104 (35)	中華人民共和国			135 (3)
10	バングラデシュ	1	7	ト ル コ	1		2 (1)	バングラデシュ	1		12
11	パキスタン		1	バングラデシュ	1		11 (2)	パキスタン			1
12	ビルマ		3(2)	パキスタン	1		1	ビルマ			1
13	フィリピン	2	7(3)	ビルマ			2 (1)	フィリピン	1(1)		7 (4)
14	ベトナム		1(1)	フィリピン	2(1)		9 (4)	ベトナム	1(1)		1 (1)
15	香 港		1	香 港			1	マレーシア	2		26 (7)
16	マレーシア	5(2)	26(7)	マレーシア	3		28 (6)	イギリス			3 (2)
17	イギリス		3(2)	ヨルダン	1(1)		1 (1)	オーストリア			1
18	スペイン		2(1)	アイルランド			1 (1)	オランダ			1 (1)
19	西ドイツ		2(2)	イギリス			2 (2)	スイス	1		1
20	フランス		2(2)	スペイン			2 (1)	スペイン			1
21	ポーランド		1	チェコスロバキア	1		1	チェコスロバキア			1
22	アメリカ合衆国		6(2)	西ドイツ			2 (1)	フランス			2 (1)
23	カナダ		1(1)	フランス			1 (1)	ベルギー			1 (1)
24	メキシコ	1	4(2)	ポルトガル	1		1	ポルトガル			1
25	アルゼンチン		1(1)	ポーランド			3 (1)	アメリカ合衆国			9 (4)
26	ウルグアイ	1	1	アメリカ合衆国			5 (3)	アルゼンチン	1(1)		3 (3)
27	コロンビア	1	2	メキシコ	1(1)		5 (3)	コロンビア			1
28	パナマ	1	1	ホンジュラス	1		1	チリ	1		1
29	ブラジル		2(1)	アルゼンチン	1		3 (2)	パラグアイ			1 (1)
30	ペルー		2(2)	コロンビア			1	ブラジル	1(1)		4 (2)
31	エジプト		2	ブラジル			3 (1)	ペルー			2 (2)
32	ガーナ	1	2	ペルー			2 (2)	ホンジュラス			1
33	ケニア		1(1)	エジプト			3 (1)	メキシコ	1		5 (2)
34	タンザニア		1	ガーナ			2	エジプト	1		6 (1)
35	オーストラリア		1(1)	ケニア			2 (1)	ガーナ			3
36				ザンビア	1		1	ケニア	1(1)		2 (1)
37				セネガル			1	スーダン			1
38				タンザニア			1	セネガル			1
39				オーストラリア			1 (1)	タンザニア			1
40				ニュージーランド			3 (1)	チュニジア	1		1
41								ニュージーランド			2
	計	22(5)	273(80)	計	21(4)	2	329(100)	計	16(5)	4	369(123)
					23(4)				20(5)		

( )は女子で内数

このような状況のもとで、上でも述べたように日本語・日本事情の部門が教育学部に設置され、それから状況に応じて当然のように、日本語・日本事情の役割が増えてきたのである。その状況を次の2つの表でみてみよう。

\*日本語・日本事情の専任スタッフと非常勤講師の数

〔表5〕

年	教授	助教授／講師	助手	授業担当(学部内)	兼任／非常勤
50		奥田邦男		大槻和夫	奥田久子, 小林泰秀
51		奥田邦男	金本節子	大槻和夫	三浦省五／奥田久子, 小林泰秀
52		奥田邦男	金本節子	大槻和夫	稲田勝彦, 中川正之／奥田久子, 小林泰秀
53		奥田邦男	金本節子	大槻和夫	稲田勝彦, 中川正之／奥田久子, 小林泰秀
54		奥田邦男	金本節子	大槻和夫	位藤邦生, 樋口昌幸／奥田久子 小林泰秀, 内藤祐子
55		奥田邦男	金本節子 小脇光男	大槻和夫 森野繁夫	位藤邦生, 樋口昌幸／ 奥田久子, 小林泰秀, 内藤祐子
56		奥田邦男	金本節子 小脇光男	大槻和夫 森野繁夫	位藤邦生, 樋口昌幸／菊池圭子 奥田久子, 小林泰秀, 内藤祐子
57		奥田邦男	岡本由美子 小脇光男	大槻和夫 森野繁夫	位藤邦生／瀬戸口修, 菊池圭子 奥田久子, 小林泰秀, 内藤祐子
58		奥田邦男	金本節子 小脇光男	大槻和夫 森野繁夫	位藤邦生／瀬戸口修, 菊池圭子 奥田久子, 小林泰秀, 内藤祐子 (西条)小野由美子, 大槻温子
59	奥田邦男		金本節子 深見兼孝	森野繁夫	位藤邦生／山下淑子, 菊池圭子 奥田久子, 小林泰秀, 内藤祐子 迫田久美子 (西条)小野由美子, 大槻温子
60	奥田邦男	浮田三郎	岡本由美子 深見兼孝		位藤邦生／小林泰秀, 菊池圭子 奥田久子, 迫田久美子, 内藤祐子 (西条)田畑佳則／小野由美子 大槻温子
61	奥田邦男	浮田三郎	岡本由美子 深見兼孝		位藤邦生, 古浦敏生／菊池圭子 奥田久子, 小林泰秀, 内藤祐子 迫田久美子 (西条)田畑佳則／小野由美子 大槻温子

年	教授	助教授／講師	助手	授業担当（学部内）	兼任／非常勤
62		浮田三郎 上原麻子 （日研） 多和田眞一郎 長友和彦	難波康治 深見兼孝	奥田邦男，木坂 基 細田和雄，斎藤 稔 相原和邦，縫部義則 岡崎敏雄，沼本克明	位藤邦生，古浦敏生／ 奥田久子，小林泰秀，内藤祐子 （西条）田畑佳則／小野由美子 大槻温子，渡部浩見
63		浮田三郎 上原麻子 深見兼孝 （日研） 多和田眞一郎 長友和彦	難波康治 飯田史也	奥田邦男，木坂 基 相原和雄，斎藤 稔 相原和邦，城田 俊 沼本克明，岡崎敏雄 カッケンブシュ 寛子 縫部義則， 水町伊佐男 熊取谷哲夫	位藤邦生，古浦敏生／ 奥田久子，小林泰秀，内藤祐子 （西条）田畑佳則／小野由美子 大槻温子 渡部浩見
元		浮田三郎 上原麻子 深見兼孝 （日研） 多和田眞一郎 長友和彦	田村泰男 峯 正志	木坂 基，相原和邦 沼本克明，城田 俊 カッケンブシュ 寛子 岡崎敏雄，町 博光 白川博之，中村春作 縫部義則	位藤邦生，古浦敏生／ 奥田久子，小林泰秀，内藤祐子 （西条）田畑佳則／小野由美子 大槻温子，渡部浩見

このように、昭和55年度からは教員研修留学生研修プログラムのための助手が学内措置で付けられている。また、昭和59年度からは正式に専任の助教授のポストが増加されている。しかし、実に種々様々な外国人留学生にニーズに合った日本語教育を施すためには、なお多くの教官が必要なのである（cf. 表6）。さらに、昭和60年度から外国人留学生日本語研修コースが設置（当コース専任教官2名増員）され、昭和62年度からは、日本語・日本事情の教官もこのコースを援助し、日本語研修コースの教官も日本語・日本事情を援助することになり、お互いに協力体制を組むに至ったのである（外国人留学生日本語研修コースの歴史と活動も参照）。昭和63年度には、留学生受け入れに伴う専門教育教官として、講師のポストが増設され、深見氏がその任に当たっている。

\*授業内容

〔表6〕

日本語・日本事情 S 50

講座	授業科目	週時数	単位数	講義題目	授業内容	担当教官	学期	備考
	日本語 初級 A	2	2	日本語 初級 A 講義	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・基本文型・会話の初歩を教える。	奥田 (邦)		
		2		日本語 初級 A 練習		奥田 (久)		
	日本語 初級 B	2	2	日本語 初級 B 講義	初級 A を終わった程度の学生に読み書きの初歩, 基本的な文法・漢字・会話を教える。	奥田 (邦)		
		2		日本語 初級 B 練習		小林		
	日本語 中級 A	2	2	日本語 中級 A 講義	初級 B を終った程度の学生(大阪外大で, 日本語を学習した学生)に読解・作文・文法・会話を教える。	奥田 (邦)		
		2		日本語 中級 A 練習		奥田 (久)		
	日本語 中級 B	2	2	日本語 中級 B 講義	中級 A を終わった程度の学生に読解・作文・文法・スピーチを教える。	奥田 (邦)		
		2		日本語 中級 B 練習		小林		
	日本語 上級 A	2	1	日本語 上級 A 講義	スピーチ・作文・聞きとり	奥田 (邦)		
	日本語 上級 B	2	1	日本語 上級 B 講義	読解	大槻		

※ この授業は大学設置基準第 45 条による外国人留学生のための日本語科目である。

講座	授業科目	週時数	単位数	講義題目	授業内容	担当教官	学期	備考
日本語 初級Ⅰ	日本語 初級Ⅰ	2	4	日本語 初級Ⅰ講義	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・基本文型・会話の初歩を教える。	奥田 (邦)	通年	
		2		日本語 初級Ⅰ実習		奥田 (久)		
日本語 初級Ⅱ	日本語 初級Ⅱ	2	4	日本語 初級Ⅱ講義	初級Ⅰを終った程度の学生に読み書きの初歩, 基本的な文法・漢字・会話を教える。	小林	通年	
		2		日本語 初級Ⅱ実習		三浦		
日本語 中級Ⅰ	日本語 中級Ⅰ	2	4	日本語 中級Ⅰ講義	初級Ⅱを終った程度の学生(大阪外大で, 日本語を学習した学生)に読解・文法・会話・作文を教える。	奥田 (邦)	前期	
				奥田 (久)		後期		
		2		日本語 中級Ⅰ実習		小林	前期	
				小林		後期		
日本語 中級Ⅱ	日本語 中級Ⅱ	2	2	日本語 中級Ⅱ講義	中級Ⅰを終った程度の学生に読解・文法・作文・スピーチを教える。	奥田 (久)	前期	
						奥田 (邦)	後期	
日本語 上級Ⅰ	日本語 上級Ⅰ	2	2	日本語 上級Ⅰ講義	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作文	奥田 (邦)	前期	
						大槻	後期	
日本語 上級Ⅱ	日本語 上級Ⅱ	2	2	日本語 上級Ⅱ講義	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作文	大槻	前期	
						奥田 (邦)	後期	
日本事情	日本事情	2	1	日本の文化	日本の文化および習慣等の紹介	奥田 (邦)	前期	
日本事情	日本事情	2	1	日本事情 特殊研究	日本人の思考様式に関する講義及び討論	奥田 (邦)	後期	



講 座	授業科目	週時数	単位数	講義題目	授 業 内 容	担 当 官	学期	備 考
日本語・ 日本事情	日 本 語 初 級 I	2	4	日 本 語 初 級 I 講 義	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・基本文型・会話の初歩を教える。	奥 田 (邦)	通 年	
		2		日 本 語 初 級 I 実 習		奥 田 (久)	通 年	
	日 本 語 初 級 II	2	4	日 本 語 初 級 II 講 義	初級Ⅰを終わった程度の学生に読み書きの初歩, 基本的な文法・漢字・会話を教える。	小 林	通 年	
		2		日 本 語 初 級 II 実 習		稲 田	通 年	
	日 本 語 中 級 I		4	日 本 語 中 級 I 講 義	初級Ⅱを終わった程度の学生(大阪外大で, 日本語を学習した学生)に読解・文法・会話・作文を教える。	奥 田 (邦)	前 期	
				2		日 本 語 中 級 I 実 習	奥 田 (久)	後 期
	2	日 本 語 中 級 I 実 習	小 林	通 年				
	日 本 語 中 級 II	2	2	日 本 語 中 級 II 講 義	中級Ⅰを終わった程度の学生に読解・文法・作文・スピーチを教える。	奥 田 (久)	前 期	
						奥 田 (邦)	後 期	
	日 本 語 中 級 III	2	2	日 本 語 中 級 III 講 義	漢字文化圏(中国・香港・韓国・マレーシア等)からの学生を対象に, 語彙・読解・作文に関する特殊な困難点を取り上げて検討する。	中 川	前 期	
						中 川	後 期	
	日 本 語 上 級 I	2	2	日 本 語 上 級 I 講 義	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作文	奥 田 (邦)	前 期	
						大 槻	後 期	
	日 本 語 上 級 II	2	2	日 本 語 上 級 II 講 義	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作文	大 槻	前 期	
				奥 田 (邦)		後 期		
日 本 事 情	2	1	日本の文化	日本の文化および習慣等の紹介	奥 田 (邦)	前 期		
日 本 事 情	2	1	日 本 事 情 特 殊 研 究	日本人の思考様式に関する講義及び討論	奥 田 (邦)	後 期		

授業科目	単位数	担当教官	授業内容	学期	備考
日本語Ⅰ 初級Ⅰ	4	奥田(邦)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・基本文型・会話の初歩を教える。	通年	
		内藤(非常勤)		通年	
日本語Ⅱ 初級Ⅱ	2	小林(非常勤)	初級Ⅰを終った程度の学生に読み書きの初歩、基本的な文法・漢字・会話を教える。	通年	
日本語Ⅲ 初級Ⅲ	2	樋口(非常勤)	初級Ⅱを終った程度の学生に読解・文法・会話・作文を教える。	通年	
日本語Ⅰ 中級Ⅰ	4	奥田(邦)	初級Ⅲを終った程度の学生(大阪外大で、日本語を学習した学生)に読解・文法・会話・作文を教える。	前期	
		奥田(久)(非常勤)		後期	
		小林(非常勤)		通年	
日本語Ⅱ 中級Ⅱ	2	奥田(久)(非常勤)	中級Ⅰを終った程度の学生に読解・文法・作文・スピーチを教える。	前期	
		奥田(邦)		後期	
日本語Ⅲ 中級Ⅲ	2	位藤(非常勤)	漢字文化圏(中国・香港・韓国・マレーシア等)からの学生を対象に、語彙・読解・作文に関する特殊な困難点を取り上げて検討する。	前期	
				後期	
日本語Ⅰ 上級Ⅰ	2	奥田(邦)	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作文	前期	
		大槻		後期	
日本語Ⅱ 上級Ⅱ	2	大槻	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作文	前期	
		奥田(邦)		後期	
日本事情Ⅰ	2	奥田(邦)	日本の文化および習慣等の紹介	前期	
		奥田(久)(非常勤)		後期	
日本事情Ⅱ	2	奥田(久)(非常勤)	日本人の思考様式に関する講義及び討論	前期	
		奥田(邦)		後期	

授業科目	単位数	担当教官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 初 級 I	4	奥田(邦)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・基本文型・会話の初歩を教える。	前期	
				後期	
		内 藤 (非常勤)		前期	
				後期	
日 本 語 初 級 II	2	小 林 (非常勤)	初級Ⅰを終わった程度の学生の読み書きの初歩, 基本的な文法・漢字・会話を教える。	前期	
				後期	
日 本 語 初 級 III	2	樋 口 (非常勤)	初級Ⅱを終わった程度の学生に読解・文法・会話・作文を教える。	前期	
				後期	
日 本 語 中 級 I	4	奥田(邦)	初級Ⅲを終わった程度の学生(大阪外大で, 日本語を学習した学生)に読解・文法・会話・作文を教える。	前期	
		奥田(久) (非常勤)		後期	
		小 林 (非常勤)		前期	
				後期	
日 本 語 中 級 II	2	奥田(久) (非常勤)	中級Ⅰを終わった程度の学生に読解・文法・作文・スピーチを教える。	前期	
		奥田(邦)		後期	
日 本 語 中 級 III	2	位 藤 (非常勤)	漢字文化圏(中国・香港・韓国・マレーシア等)からの学生を対象に, 語彙・読解・作文に関する特殊な困難点を取り上げて検討する。	前期	
				後期	
日 本 語 上 級 I	2	奥田(邦)	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作文	前期	
		大 槻		後期	
日 本 語 上 級 II	2	大 槻	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作文	前期	
		奥田(邦)		後期	
日 本 語 上 級 III	2	森 野	漢字文化圏(中国・香港・マレーシア等)からの学生を対象に, 読解・作文・翻訳の指導を行う。	前期	
				後期	
日 本 事 情 I	2	奥田(邦)	日本の文化および習慣等について考察する。	前期	
		奥田(久) (非常勤)		後期	
日 本 事 情 II	2	奥田(久) (非常勤)	日本人の思考様式に関する講義及び討論	前期	
		奥田(邦)		後期	

授業科目	単位数	担当教官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 初 級 I	4	奥田(邦)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・基本文型・会話の初歩から教える。	前期	
		内 藤 (非常勤)		後期	
				前期	
				後期	
日 本 語 初 級 II	2	小 林 (非常勤)	初級Ⅰを終わった程度の学生に読み書きの初歩，基本的な文法・漢字・会話を教える。	前期 後期	
日 本 語 初 級 III	2	瀬 戸 口 (非常勤)	初級Ⅱを終わった程度の学生に読解・文法・会話・作文を教える。	前期 後期	
日 本 語 初 級 特 講	12	奥田(邦) 奥田(久) (非常勤) 内 藤 (非常勤) 菊 池 (非常勤)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・文法・会話・作文の初歩を集中的に教える。	後期	
日 本 語 中 級 I	4	奥田(邦)	初級Ⅲを終わった程度の学生(大阪外大で，日本語を学習した学生)に読解・文法・会話・作文を教える。	前期	
		奥田(久) (非常勤)		後期	
		小 林 (非常勤)		前期	
				後期	
日 本 語 中 級 II	2	奥田(久) (非常勤)	中級Ⅰを終わった程度の学生に読解・文法・作文・スピーチを教える。	前期	
		奥田(邦)		後期	
日 本 語 中 級 III	2	位 藤 (非常勤)	漢字文化圏(中国・香港・韓国・マレーシア等)からの学生を対象に，語彙・読解・作文に関する特殊な困難点を取り上げて検討する。	前期 後期	
日 本 語 中 級 特 講	8	奥田(邦) 奥田(久) (非常勤) 内 藤 (非常勤) 菊 池 (非常勤)	初級特講を終わった程度の学生に読解・文法・会話・作文を集中的に教える。	前期	
日 本 語 上 級 I	2	奥田(邦)	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作文	前期	
		大 槻		後期	

授業科目	単位数	担当教官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 上 級 Ⅱ	2	大 槻	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作文	前期	
		奥田(邦)		後期	
日 本 語 上 級 Ⅲ	2	森 野	漢字文化圏(中国・香港・マレーシア等)からの学生を対象に、読解・作文、翻訳の指導を行う。	前期	
				後期	
日本事情Ⅰ	2	奥田(邦)	日本の文化および習慣等について考察する。	前期	
		奥田(久) (非常勤)		後期	
日本事情Ⅱ	2	奥田(久) (非常勤)	日本人の思考様式に関する講義及び討論	前期	
		奥田(邦)		後期	

日本語・日本事情 S 58. 59. 60

授業科目	単位数	担当教官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 初 級 Ⅰ	4	奥田(邦)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・基本文型・会話の初歩から教える。	前期	広島大学外国人留学生等のための開設科目。
				後期	
		内 藤 (非常勤)		前期	
				後期	
日 本 語 初 級 Ⅱ	2	菊 池 (非常勤)	初級Ⅰを終った程度の学生に読み書きの初歩、基本的な文法・漢字・会話を教える。	前期	
				後期	
日 本 語 初 級 Ⅲ	2	瀬 戸 口 (非常勤)	初級Ⅱを終った程度の学生に読解・文法・会話・作文を教える。	前期	
				後期	
日 本 語 初 級 特 講	12	奥田(邦) 奥田(久) (非常勤) 内 藤 (非常勤)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・文法・会話・作文の初歩を集中的に教える。	後期	
日 本 語 中 級 Ⅰ	4	奥田(邦)	初級Ⅲを終った程度の学生(大阪外大で、日本語を学習した学生)に読解・文法・会話・作文を教える。	前期	
		奥田(久) (非常勤)		後期	
		瀬 戸 口 (非常勤)		前期	
		菊 池 (非常勤)		後期	

授業科目	単位数	担当教官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 中 級 Ⅱ	2	奥田(久) (非常勤)	中級Ⅰを終った程度の学生に読解・文法・ 作文・スピーチを教える。	前期	
		奥田(邦)		後期	
日 本 語 中 級 Ⅲ	2	位 藤 (非常勤)	漢字文化圏(中国・香港・韓国・マレーシ ア等)からの学生を対象に、語彙・読解・作 文に関する特殊な困難点を取り上げて検討する。	前期	
				後期	
日 本 語 中 級 特 講	8	奥田(邦) 奥田(久) (非常勤) 内 藤 (非常勤) 菊 地 (非常勤)	初級特講を終った程度の学生に読解・文法 ・会話・作文を集中的に教える。	前期	
日 本 語 上 級 Ⅰ	2	奥田(邦)	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作 文	前期	
				後期	
日 本 語 上 級 Ⅱ	2	大 槻	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作 文	前期	
				後期	
日 本 語 上 級 Ⅲ	2	森 野	漢字文化圏(中国・香港・マレーシア等) からの学生を対象に、読解・作文、翻訳の指 導を行う。	前期	
				後期	
日本事情Ⅰ	2	奥田(邦)	日本の文化及び習慣等について考察する。	前期	
		奥田(久) (非常勤)		後期	
日本事情Ⅱ	2	奥田(久) (非常勤)	日本人の思考様式に関する講義及び討論	前期	
		奥田(邦)		後期	
日 本 語 初 級 Ⅰ	4	小 野 (非常勤)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文 字・基本文型・会話の初歩から教える。	前期	西条キャン パスにおけ る外国人留 学生のため の開設科目
				後期	
日 本 語 中 級 Ⅰ	4	小 野 (非常勤)	初級Ⅱを終った程度の学生(大阪外大で、 日本語を学習した学生)に読解・文法・会話 ・作文を教える。	前期	
		大 槻 (非常勤)		後期	
日 本 語 上 級 Ⅰ	2	大 槻 (非常勤)	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作 文	前期	
				後期	
日本事情Ⅰ	2	大 槻 (非常勤)	日本の文化及び習慣等について考察する。	前期	
				後期	

授業科目	単位数	担当教官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 初 級 I	4	奥田(邦)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・基本文型・会話の初歩から教える。	前期	広島大学外国人留学生等のための開設科目。
				後期	
		浮 田		前期	
				後期	
日 本 語 初 級 II	2	浮 田	初級Ⅰを終わった程度の学生に読み書きの初歩, 基本的な文法・漢字・会話を教える。	前期	
				後期	
日 本 語 初 級 III	2	浮 田	初級Ⅱを終わった程度の学生に読解・文法・会話・作文を教える。	前期	
				後期	
日 本 語 初 級 IV	2	浮 田	漢字文化圏(中国・香港・マレーシア等)からの学生を対象に, 基本的な文法・読解・作文を教える。	前期	
				後期	
日 本 語 初 級 特 講	12	奥田(邦) 浮 田 奥田(久) (非常勤) 内 藤 (非常勤) 菊 地 (非常勤)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・文法・会話・作文の初歩を集中的に教える。	後期	
日 本 語 中 級 I	4	奥田(邦)	初級Ⅲを終わった程度の学生に読解・文法・会話・作文を教える。	前期	
		迫 田 (非常勤)		後期	
		古 浦 (非常勤)		前期	
		小 林 (非常勤)		後期	
日 本 語 中 級 II	2	小 林 (非常勤)	中級Ⅰを終わった程度の学生に読解・文法・作文・スピーチを教える。	前期	
		古 浦 (非常勤)		後期	
日 本 語 中 級 III	2	位 藤 (非常勤)	漢字文化圏(中国・香港・韓国・マレーシア等)からの学生を対象に, 語彙・読解・作文に関する特殊な困難点を取り上げて検討する。	前期	
				後期	

授業科目	単位数	担当教官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 中 級 特 講	8	奥田(邦) 浮 田 奥田(久) (非常勤) 内 藤 (非常勤) 菊 地 (非常勤)	初級特講を終った程度の学生に読解・文法・ 会話・作文を集中的に教える。	前期	西条キャン パスにおけ る外国人留 学生のため の開設科目
日 本 語 上 級 I	2	奥田(邦)	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作 文	前期 後期	
日 本 語 上 級 II	2	小 林 (非常勤)	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作 文	前期 後期	
日 本 語 上 級 III	2	浮 田	漢字文化圏(中国・香港・マレーシア等) からの学生を対象に、読解・作文・翻訳の指 導を行う。	前期 後期	
日本事情 I	2	奥田(邦) 奥田(久) (非常勤)	日本の文化及び習慣等について考察する。	前期 後期	
日本事情 II	2	奥田(久) (非常勤) 奥田(邦)	日本人の思考様式に関する講義及び討論	前期 後期	
日 本 語 初 級 I	4	小 野 (非常勤)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文 字・基本文型・会話の初歩から教える。	前期 後期	
日 本 語 中 級 I	4	田 畑 (非常勤) 小 野 (非常勤)	初級Ⅲを終った程度の学生に読解・文法・ 会話・作文を教える。	前期 後期	
日 本 語 中 級 II	2	大槻(温) (非常勤)	中級Ⅰを終った程度の学生に読解・文法・ 作文・スピーチを教える。	前期 後期	
日 本 語 上 級 I	2	大槻(温) (非常勤)	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作 文	前期 後期	
日 本 語 上 級 II	2	田 畑 (非常勤)	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作 文	前期 後期	
日本事情 I	2	大槻(温) (非常勤)	日本の文化及び習慣等について考察する。	前期 後期	



授業科目	単位数	担当教官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 初 級 I	1	長 友	日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に発音・文字・基本文型を教える。	前期	
				後期	
日 本 語 初 級 II	1	細 田	日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に問題演習を行う。	前期	
				後期	
日 本 語 初 級 III	1	岡 崎	日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に、読解指導を行う。	前期	
				後期	
日 本 語 初 級 IV	1	岡 崎	日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に、聴解・会話演習を行う。	前期	
				後期	
日 本 語 中 級 I	2	浮 田	日本語初級を終わった程度の学習者に、読解・文法指導を行う。	前期	
		古 浦 (非常勤)		後期	
日 本 語 中 級 II	2	小 林 (非常勤)	日本語初級を終わった程度の学習者に、作文・会話の指導を行う。	前期	
				後期	
日 本 語 中 級 III	2	カッケン ブッシュ	日本語初級を終わった程度の学習者に、小説・随筆などの講読の指導を行う。	前期	
				後期	
日 本 語 中 級 IV	2	多 和 田	日本語中級Ⅰ～Ⅲを終わった程度の学習者に、読解・文法・口頭表現(会話)・文章表現(作文)を教える。	前期	
				後期	
日 本 語 中 級 V	2	沼 本	日本語中級Ⅰ～Ⅲを終わった程度の学習者に、漢字の使い方・発音・漢語の体系などを教える。	前期	
				後期	
日 本 語 中 級 VI	2	位 藤 (非常勤)	日本語中級Ⅰ～Ⅲを終わった程度の学習者に小説などの読解指導を行う。	前期	
				後期	
日 本 語 上 級 I	2	奥田(邦)	テレビドラマ等の教材を使って、読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作文を指導する。	前期	
				後期	
日 本 語 上 級 II	2	相 原	日本文学を題材として、日本語の語彙・構文・表現・発想の特徴を追求し、あわせて日本文化の構造と特色を検討する。	前期	
				後期	
日 本 語 上 級 III	2	小 林 (非常勤)	読解・文法・作文・スピーチを教える。	前期	
				後期	

授業科目	単位数	担当教官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 上 級 Ⅳ	2	木 坂	作文・読解を柱にした，課題別総合指導を行う。	前期	
				後期	
日 本 語 上 級 Ⅴ	2	浮 田	日本の社会・文化生活様式の理解をはかるため，講義・討論を行う。	前期	
				後期	
日本事情Ⅰ	2	未 定	日本の社会・文化生活様式の理解をはかるため，講義・討論を行う。	前期	
				後期	
日本事情Ⅱ	2	奥田(久) (非常勤)	日本の文化及び習慣等について考察する。	前期	
				後期	
日本事情Ⅲ	2	斎 藤	日本の美術，芸術の紹介および日本文化についての討論。	前期	
				後期	
日本事情Ⅳ	2	上 原	日本人の思考様式を，異文化間コミュニケーション的視点により講義・討論する。	前期	
				後期	
日本語初級特講	12	浮 田 上 原 多 和 田 長 友 部 縫 部 奥田(久) (非常勤) 内 藤 (非常勤)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・会話・作文の初歩を集中的に教える。	後期	
日本語中級特講	8	浮 田 上 原 多 和 田 長 友 部 縫 部 奥田(久) (非常勤) 内 藤 (非常勤)	初級特講を終った程度の学生に読解・文法・会話・作文を集中的に教える。	前期	
日 本 文 化			日本語・日本文化研修留学生を対象に，日本文化のさまざまな側面について，より深い知識と理解を得させる。なお，講義に合わせて随時実地研修も行う。	前期	
				後期	
日 本 語 初 級 Ⅰ	4	小 野 (非常勤)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・基本文型・会話の初歩から教える。	前期	西条キャンパスで開講
		渡 部 (非常勤)		後期	

授業科目	単位数	担当教官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 中 級 I	4	田 畑 (非常勤)	初級を終った程度の学生に読解・文法・会 話・作文を教える。	前期	西条キャン パスで開講
		渡 部 (非常勤)		後期	
日 本 語 中 級 II	2	大槻(温) (非常勤)	中級Iを終った程度の学生に読解・文法・ 作文・スピーチを教える。	前期	
				後期	
日 本 語 上 級 I	2	大槻(温) (非常勤)	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作 文	前期	
				後期	
日 本 語 上 級 II	2	田 畑 (非常勤)	読解・スピーチ・聞きとり・上級文法・作 文	前期	
				後期	
日本事情 I	2	大槻(温) (非常勤)	日本の文化及び習慣等について考察する。	前期	
				後期	

これを見ると、昭和56年度から日本語初級・中級特講というのが入り授業数が大幅に増えている。これは、当年度から教員研修留学生の日本語研修を日本語・日本事情が担当することになったからである。また、昭和58年度からは工学部が西条キャンパスに移転したため、西条キャンパスでも日本語・日本事情の授業が行われ始めていることが分かる。そして、昭和62年度からは、日本語・日本文化研修留学生のための特別講義などのプログラムも始めている。

前回も述べたが、さらに、昭和63年度から授業数が大幅に増えているのは、当年度から日本語教育学科が発足し当学科の先生がたがそれぞれ1コマずつ担当して下さることになったからである。

しかし、最近少し問題が出てきた。それは、何人かの日本語教育学科の先生がたが多忙のため日本語・日本事情の授業を担当することができなくなってきたからである。かく、色々な問題と課題を抱えながら、当研究室は、試行錯誤しながら我らが道を捜しているのである。

なお、ここ3年間の当研究室の動向の詳細は、前号と今回の報告編を参照してもらいたい。

## 「教員研修留学生コース」

峯 正 志

広島大学では、教員研修留学生を昭和55年10月から受け入れている。これまでに、11ヶ国 119人の留学生が研修を終え、現在は第10期生の13人（7カ国）が研修を続けている。<sup>\*</sup>

留学生の研修内容は、「日本語研修」、「専門研修」、「見学実習」の三つに大別される。第1期生（昭和55年10月～57年3月）から第9期生（昭和63年10月～平成2年3月）迄は、これらの研修は、図1に見られるようなスケジュールによって行なわれていたが、第10期生からは、教育学部の東広島市西条町への移転の問題等があり、図2に見られるようなスケジュールに変更されている。<sup>\*\*</sup>

これらの研修内容のうち「日本語研修」に関しては、既に前号の、「日本語初級・中級特講」の章で報告されている。また「専門研修」は、留学生がそれぞれの指導教官のもとで個別に行なうものである。従って本報告では「見学実習」に関する報告のみを行なう。

さて、「見学実習」は、さらに

- A 日本の教育に関する特別講義・演習・見学
- B 日本の文化に関する特別講義・演習・見学

の二つに大別される。以下、第1期から第8期迄の講義題目、見学地を報告する。

<sup>\*</sup> 報告の最後に資料として、第1期から第10期までの教育研修留学生の名簿を載せる。

<sup>\*\*</sup> 教育学部のある千田キャンパスと学校教育学部のある東雲キャンパスは、共に広島（旧）市内にあるので、専門研修が始まっても両学部の留学生は一緒に日本語研修を受けることができた。西条移転の後はそれが無理なため、西条キャンパスでの6カ月の集中的日本語研修となった。

## 第1期(1980.10.-1982.3)

### A 日本の教育

#### 1) 講義・演習

- 「日本の教育」新堀通也
- 「日本の教育基本法」沖原豊
- 「日本の教育制度」岸本幸次郎
- 「教科教育学概説」五十嵐二郎・松村幹男
- 「日本の子供」山本多喜司
- 「アセアン諸国の教育」アセアン諸国の  
研修留学生・溝上泰・二宮皓
- 「教育課程1(言語・社会系)」溝上泰
- 「教育課程2(理科・数学系)」武村重和
- 「教育課程3(美術・技術系)」石原英雄
- 「教育方法」恒吉宏典・五十嵐二郎
- 「学校経営」岸本幸次郎
- 「視聴覚教材作成」角屋重樹
- 「日本の交通安全教育」西山啓
- 「心理学」石井眞治
- 「日本の教授工学と学習理論」羽生義正
- 「日本のカウンセリング」小林利宣
- 「国際理解と平和のための教育」永井滋郎
- 「日本の国際化と留学生交流」光田明正

#### 2) 学校・教育施設見学

- 附属東雲小学校
- 附属東雲中学校
- 附属東雲中・高等学校
- 附属幼稚園
- 広島市教育センター
- 広島養護学校
- 広島県教育委員会
- 広島文化女子短期大学
- 広島刑務所
- 長期学校
- 広島コンピューター学院
- NHK広島放送局
- 広島総合高等職業訓練校
- 広島南区スポーツセンター
- 貴船原少女苑
- 三篠公民館

### B 日本の文化

#### 1) 講義・演習

- 「日本文化の特質」式部久
- 「日本の風土」石田寛
- 「日本の政治」畑博行
- 「日本経済の特質」三辺誠夫
- 「日本と東南アジア」長井信一
- 「日本の茶道」陣崎美知子
- 「日本の農業」倉石晋
- 「日本の化学工業」頼実正弘
- 「日本の自動車工業」広安博之
- 「日本の熱帯病」辻守康
- 「書道」森井一幸
- 「日本の音楽」坂山之春
- 「日本の武道(柔道)」土肥貞・渡部和彦
- 「柔道」(実技)土肥貞・渡部和彦

#### 2) 講義・見学

- 「日本の植物相」(広島市植物園)近藤勝彦
- 「宮島」奥田邦男
- 「日本の宗教と日本人の思考様式」  
(浄土真宗の寺)桂紹隆
- 「広島湾地域の地理」村上誠・成瀬敏郎
- 「安芸津農事試験場」倉石晋

#### 3) 見学

- 広島平和公園・平和記念館
- 広島城・縮景園
- 三菱重工業
- 東洋工業

#### 4) 研修旅行

- スキー研修(大山)

#### 5) その他

- 江田島青年の家宿泊研修
- 附属小学校卒業式見学
- 広島大学卒業式見学
- 広島大学入学式見学
- 新入生オリエンテーションキャンプ参加
- 附属小学校運動会参加
- 広島フラワーフェスティバル参加
- 附属高等学校教育実習見学
- 学校見学及びホームステイ
- 宮島管弦祭見学

## 第2期(1981.10.-1983.3)

### A 日本の教育

#### 1) 講義・演習

- 「日本の教育制度」岸本幸次郎  
「日本の教育」新堀通也  
「日本の教育基本法」沖原豊  
「教科教育学概説」五十嵐二郎・松村幹男  
「タイ、韓国、メキシコのエデュケーション事情」  
タイ、韓国、メキシコのエデュケーション留学生・二宮皓・溝上泰  
「教育課程1(社会系)」溝上泰  
「日本の子供」山本多喜司  
「教育課程2(美術・技術系)」石原英雄  
「オーストラリアにおける中等教育の諸問題」  
(公開講演)  
トーマス・プリースト 西オーストラリア大学教授  
「教育方法」恒吉宏典  
「教育課程3(理科・数学系)」武村重和  
「日本の交通安全教育」西山啓  
「非言語伝達」石井眞治  
「日本の学校保健」清水凡生  
「日本の教授工学と学習理論」羽生義正  
「日本のカウンセリング」小林利宣  
「視聴覚教材の作成」角屋重樹  
「国際理解と平和のための教育」永井滋郎  
「学校経営」岸本幸次郎

#### 2) 学校・教育施設見学

- 附属東雲小学校  
附属東雲中学校  
附属中・高等学校  
附属幼稚園  
広島市立図書館  
広島県教育委員会  
広島県立児童相談所  
広島教育センター  
貴船原少女苑  
楠那公民館  
府中町教育委員会  
海田朝鮮中・高等学校  
広島養護学校  
僻地指定校  
NHK広島放送局  
広島会計学院  
広島刑務所

#### 3) 研修旅行

- 山口市の教育・文化施設見学  
スキー研修(大山)  
江田島青年の家宿泊研修  
岡山大・広島大教員研修留学生合同宿泊研修会(国立吉備少年自然の家)

### B 日本の文化

#### 1) 講義・演習

- 「日本の文化の特質」式部久  
「日本の近代化」有元正雄  
「日本の政治」畑博行  
「日本経済の強みと弱み」三辺誠夫  
「茶道」陣崎美知子  
「日本の農業」倉石晋  
「日本と南北問題」栗野鳳  
「日本の電子工業」吉田典可  
「日本の自動車工業」広安博之  
「書道」森井一幸  
「日本の武道」土肥貢・渡部和彦  
「柔道」土肥貢・渡部和彦  
「日本と日本人」小林惇・藤原健蔵

#### 2) 講義・見学

- 「宮島巡検」藤原健蔵  
「日本の植物相」(広島市植物園)近藤勝彦  
「日本の宗教と日本人の思考様式」  
(浄土真宗寺)桂紹隆  
「広島湾地域の地理」村上誠・佐竹昭  
「日本のビール産業」  
(府中キリン・ビール工場)倉石晋

#### 3) 見学

- 広島平和記念公園  
広島城・縮景園  
八本松シャープ工場  
東洋工業

#### 4) その他

- 広島・岡山・神戸三大学の教員研修留学生  
交歓会  
新生オリエンテーションキャンプ参加  
広島フラワーフェスティバル参加  
スピーチコンテスト参加・見学

## 第3期(1982.10.-1984.3)不明

## 第4期(1983.10.-1985.3)

### A 日本の教育

#### 1) 講義・演習

- 「日本の教育制度」沖原豊
- 「日本の青少年と家庭」山本多喜司
- 「日本の教育の諸問題」新堀通也
- 「日本の教育行政・学校経営」岸本幸次郎
- 「教科教育学概説(1)」五十嵐二郎
- 「日本の教育心理・教育評価」小林利宣
- 「教育相談」鎌幹八郎
- 「教授学習過程」羽生義正
- 「国際理解の平和のための教育」永井滋郎
- 「教育過程」武村重和
- 「教科教育学概説(2)」松村幹男
- 「日本の子供の身体」池田二三夫
- 「日本の理科教育」寺川智祐
- 「教育方法」恒吉宏典
- 「日本人の表現方法」奥田邦男
- 「日本の数学教育」平林一栄
- 「日本の教育史」三好信浩
- 「日本の安全教育」西山啓
- 「教育測定と教育評価」吉岡一郎
- 「日本の社会教育」土井利樹
- 「視聴覚教材作成」松本伸示
- 「各国の教育事情」二宮皓
- 「日本の技術教育」桜井照男
- 「日本における授業形態」片岡徳雄
- 「学校経営(2)」吉田正晴
- 「日本の教育心理・教育評価(2)」小林利宣
- 「日本の数学教育(2)」平林一栄
- 「日本の教育行政・学校経営(3)」岸本幸次郎
- 「日本の教育行・財政」名和弘彦・上原貞雄
- 「日本の理科教育(2)」寺川智祐
- 「日本の理科教育(3)」大前明
- 「世界の学校教育」二宮皓
- 「日本の子供の身体(2)」池田二三夫
- 「日本人の表現構造(2)」奥田邦男
- 「教育制度論」沖原豊
- 「障害児教育」田口則良
- 「言語学と言語教育」小脇光男
- 「日本のカウンセリング」鎌幹八郎
- 「教育工学」武村重和

#### 2) 学校・教育施設見学

- 附属幼稚園
- 附属小学校
- 県立広島養護学校
- 附属中・高等学校
- 附属東雲中学校
- 広島県教育委員会
- 広島市教育センター
- 楠那公民館
- こども文化科学会館
- 海田朝鮮中・高級学校
- 広島市立養護学校
- 戸河内町松原小学校
- トヨタ自動車

#### 3) 研修旅行

- スキー研修(大山)
- 九州大学教育学部比較教育文化研修施設、文化・歴史等の施設など

### B 日本の文化

#### 1) 講義・演習

- 「日本国憲法」畑博行
- 「日本の宗教と日本人の思考」桂紹隆
- 「日本の農業」倉石晋
- 「日本人の価値意識」永見勇
- 「日本の茶道と華道」陣崎美知子

#### 2) 講義・見学

- 「日本の植物相」近藤勝彦

#### 3) 見学

- 平和記念館
- 広島城・縮景園
- 宮島
- アジアの民族音楽鑑賞
- フラワーフェスティバル参加
- 広島国際文化財団主催「スピーチコンテスト」参加・見学

## 第5期(1984.10.-1986.3)

### A 日本の教育

#### 1) 講義・演習

- 「日本の教育の諸問題」新堀通也
- 「日本の教育行政・学校経営」岸本幸次郎
- 「教育心理学・教育評価」小林利宣
- 「日本の青少年と家庭」山本多喜司
- 「日本の子供の身体」池田二三夫
- 「教育相談」鎌幹八郎
- 「国際理解と平和のための教育」永井滋郎
- 「視聴覚教材と教材作成演習」松本伸示
- 「教科教育学概説」五十嵐二郎
- 「教授学習過程論」羽生義正
- 「教育工学」武村重和
- 「教育方法」恒吉宏典
- 「各国の教育事情」二宮皓

#### 2) 学校・教育施設見学

- 附属幼稚園
- 附属中・高等学校
- 附属東雲中学校
- 県立養護学校
- 附属小学校
- 広島女子商業高等学校
- 広島文化女子短期大学
- 広島市教育センター
- 児童総合相談センター
- 広島県教育委員会
- 中央公民館
- 県立広島工業高校
- 中央図書館
- 広島会計学院
- 似島臨界少年自然の家
- 南区スポーツセンター
- NHK広島放送局
- 附属小学校卒業式

#### 3) 研修旅行

- スキー研修(大山)

### B 日本の文化

#### 1) 講義・演習

- 「日本の宗教と日本人の思考」桂紹隆
- 「日本文化の特質」武部久
- 「日本人の価値意識」永見勇
- 「日本人の表現構造」奥田邦男
- 「日本の茶道・華道」陣崎美知子
- 「日本国憲法」畑博行
- 「日本の武道」土肥貢・渡部和彦

#### 2) 講義・見学

- 「日本の植物相」近藤勝彦

#### 3) 見学

- 平和記念館
- 広島城・縮景園
- 宮島
- 広島マツダ

#### 4) 研修旅行

- 萩市内文化施設・秋芳洞見学

#### 5) その他

- フラワーフェスティバル参加見学
- 憩いの村自然の森キャンプ
- 加計町ホームステイ
- 似島キャンプ
- ペアゼロベ参加見学
- トヨタ自動車見学
- スピーチコンテスト参加見学

## 第6期(1985.10.-1987.3) 不明



## 第7期(1986.10.-1988.3)

### A 日本の教育

#### 1) 講義・演習

- 「日本の教育制度」二宮皓
- 「日本の教育行政」岸本幸次郎
- 「コンピューター実習」(1)(2)(3)(4)利島保
- 「教育におけるコンピューター」吉森護
- 「日本の幼児教育」祐宗省三
- 「各国の教育事情」(1)(2)(3)二宮皓
- 「日本の初等中等教育」片岡徳雄
- 「日本の高等教育」岸本幸次郎
- 「日本のカウンセリング」鎌幹八郎
- 「日本の社会科教育」溝上泰
- 「日本の理科教育」武村重和
- 「日本の外国語教育」五十嵐二郎
- 「日本の算数・数学教育(1)」岩合一男
- 「日本の教員養成」吉田正晴
- 「日本の算数・数学教育(2)」那須俊夫
- 「視聴覚教材作成演習」松本伸示
- 「日本教育史」(1)(2)大林正昭

#### 2) 学校・教育施設見学

- 広島県教育委員会
- 附属東雲小・中学校
- 附属小学校
- 附属幼稚園
- 附属高等学校
- 広島市中央公民館
- 広島会計学院
- 広島県立社会教育センター
- 県立広島工業高等学校
- 広島市教育センター
- 広島市立中央図書館
- 広島養護学校
- 広島商船高等専門学校

#### 3) その他

- 三入小学校国際理解教育実習
- 中学生のための国際交流体験プログラム
- 僻地教育実習(広島県因島市)

### B 日本の文化

#### 1) 講義・演習

- 「日本人と宗教」山下晋也
- 「茶道」陣崎美知子
- 「華道」陣崎美知子
- 「和算」猪足裕子
- 「書道」森井一幸
- 「開化期の日本とアジア」有元正雄
- 「日本舞踊」行広雅子
- 「日本の風土」福岡義隆
- 「日本国憲法」畑博行
- 「日本の産業構造」三辺誠夫

#### 2) 見学

- 平和記念公園
- 広島城・縮景園・広島市映像文化ライブラリ
- 
- 宮島
- NHK広島放送局
- ガラスの里
- 広島市郷土資料館
- マツダ
- 錦帯橋・岩国城

#### 3) 研修旅行

- 鳴門教育大学・小豆島・金比羅山
- スキー研修(大山)

#### 4) その他

- 「『国際平和記念の森』造成による植樹祭」および「長崎県『平和の翼交歓団』との交流会」参加
- ペアセロベ参加
- 日本の教育・文化特別講義(福山市)

## 第 8 期 (1987. 10. -1989. 3)

### A 日本の教育

#### 1) 講義・演習

- 「日本の教育制度」二宮皓
- 「日本の学校経営」岸本幸次郎
- 「日本の幼児教育」祐宗省三
- 「日本の初等・中等教育」片岡徳雄
- 「日本の教員養成」吉田正晴
- 「教育におけるコンピューター」吉森護
- 「日本の高等教育」正夫
- 「各国の教育事情」二宮皓
- 「コンピューター実習」利島保
- 「日本の教育史」大林正昭
- 「僻地教育」山本卓

#### 2) 学校・教育施設見学

- 広島大学附属幼稚園
- 広島大学附属中学校
- 広島大学附属高等学校
- 広島市中央公民館
- 広島市中央図書館
- 広島市教育センター
- 県立広島工業高等学校
- 呉工業高等専門学校
- 広島商船高等専門学校
- 因島市椋浦小学校(僻地教育)

### B 日本の文化

#### 1) 講義・演習

- 「算盤」梶谷繁子
- 「日本国憲法」畑博行
- 「茶道」陣崎美知子
- 「華道」陣崎美知子
- 「書道」森井一幸
- 「日本舞踊」行広雅子
- 「日本の海外援助」武村重和
- 「日本の近代史」有元正雄
- 「日本の宗教」桂紹隆
- 「日本の経済」村上武則
- 「日本の政治」村上武則
- 「日本の美術」斎藤稔

#### 2) 見学

- 平和記念公園
- 広島城・縮景園・映像文化ライブラリー
- 宮島
- 江田島
- ガラスの里
- NHK広島放送局
- マツダ
- 錦帯橋・岩国城

#### 3) その他

- 尾道市
- スキー研修(大山)
- 倉敷市・岡山市
- 日本の教育と文化についての特別講義

図1

現状（第9期まで）

10月	3月	10月	3月
教育事情 日本文化 講義・見学	教育専門（千田）	教育専門（千田）	教育専門（千田）
課題研究	学教専門（東雲）		
	教育事情 日本文化 講義・見学	学教専門（東雲）	
日本語初級特講	日本語中級特講	日本語（選択）（千田）	

図2

1989年10月（第10期生）以後

10月	3月	10月	3月
教育事情 日本文化 講義・見学	教育専門（西条）	教育専門（西条）	教育専門（西条）
日本語教育 （西条） （初級～中級）	学教専門（東雲）	学教専門（東雲）	学教専門（東雲）
	教育事情 日本文化 講義・見学		
日本語教育（選択）（千田・西条）			

## 資料

(指導教官の欄中、最初の欄は、教=教育学部、学教=学校教育学部を示す。次の欄は、教=教授、助=助教を示す。)

## 教員研修留学生名簿

## 第1期(1980.10.-1982.3.)

氏名	国名	性別	専攻分野	指導教官
Sahus Hansin	タイ	男	数学教育学	教 教 平林一栄
Patama Sompong	タイ	女	英語教育学	教 教 垣田直巳
Juriya Singkanipa	タイ	女	職業教育	学教 教 米田博
Vija Kietrungruang	タイ	男	教育行政	学教 教 吉田正晴
Thani Revat	タイ	男	英語教育学	学教 教 五十嵐二郎
Shukor Bin Gaffor	マレーシア	男	視聴覚教育	教 教 蛭谷米司
Balakisan s/o B.Mutin	マレーシア	男	比較教育学	教 教 沖原豊
Virgilio U.Manzano	フィリピン	男	理科教育	学教 教 恩藤芳典
Frans Nini Tito	インドネシア	男	カリキュラム開発 視聴覚教育	教 教 日置光久
Rajin Ginting	インドネシア	男	電子工学	教 教 木村仁泰

## 第2期(1981.10.-1983.3.)

Germán Ignacio Salgado Maritínez	メキシコ	男	教育方法学	教 教 吉本均
Soodjai Thongon	タイ	男	教育行政	教 教 岸本幸次郎
Luis Cortés Coronel	メキシコ	男	教育行政	教 教 岸本幸次郎
Irma Fuentes Viruette	メキシコ	女	保健教育	学教 教 恩藤芳典 清水凡生
Seo, Man Ho (徐萬浩)	韓国	男	数学教育	学教 教 岩合一男
Enrique González Soto	メキシコ	男	美術教育	学教 教 石原英雄
Neramit Dhundhusawad	タイ	男	体育学	学教 教 勝場勝子
Kim, Dong Won	韓国	男	教育心理学	学教 教 河合伊六
María de los Angeles Pereda Zamora	メキシコ	男	教育制度、 学校経営	学教 教 吉田正晴

## 第3期(1982.10.-1984.3.)

Noh Bin Ahmad	マレーシア	男	教育行政	教 教 名和弘彦 上原貞雄
Vandee Ketanitinan	タイ	女	大学行財政	教 教 沖原豊
Alfonso Martínez Pimentel	メキシコ	男	臨床心理学	教 助 鎌幹八郎
Cha, Jae Mun (車載致)	韓国	男	日本語教育	教 教 奥田邦男
Anchalee Tananone	タイ	男	数学教育	教 教 平林一栄
Chirapan Day-ma	タイ	男	教育工学	教 助 武村重和
Ma. Aurora M. Litonjua	フィリピン	女	社会科教育	学教 教 溝上泰
Ra, Jae Ho	韓国	男	体育教育	学教 教 池田二三夫
Esperanza Fuentez Covarrubias	メキシコ	女	日本の幼稚園、 小学校及び精神薄 弱養護学校におけ る文字指導の方法	学教 教 田口則良

## 第4期(1983.10.-1985.3.)

Noppasan Somyanontanagul	タイ	男	教育行政	教 教 沖原豊
Sun Mian Tao	中国	男	教育行政管理	教 教 名和弘彦 上原貞雄
Mokhy Bin Saidon	マレーシア	男	教育行政	教 教 岸本幸次郎

Eugenia Reyna Rosey	メキシコ	女	小学校教育	教	教	山本多喜司
Maria De Los Angeles Rodriguez	メキシコ	女	英語教育	教	教	垣田直巳 松村幹男
Yin Yin Myat	ビルマ	女	数学教育	教	教	那須俊夫 石田忠男
Prawitt Noeybang	タイ	男	視聴覚教材	教	教	寺川智祐
Prapone Kusuwan	タイ	男	英語教育、 美術教育	学教	教	五十嵐二郎 石原英雄
Flora Dela Rosa Santos	フィリピン	女	算数教育	学教	教	岩合一男
Petrus Uty	インドネシア	男	教育方法学、 ワークショップ マネージメント	学教	教	桜井照男
Djumintar Sirait	インドネシア	男	教育方法学、 ワークショップ マネージメント	学教	教	桜井照男
Zhang Bao Quan (張宝泉)	中国	男	学校経営	学教	教	吉田正晴
第5期 (1984.10.-1986.3.)						
Park, Hwa Uk (朴和煜)	韓国	男	生徒指導	教	教	鑑幹八郎
Kim, Kye Sik (金桂植)	韓国	女	社会科教育	学教	教	溝上泰
Liu, Shu Lan (劉淑蘭)	中国	女	教育行政	教	教	名和弘彦 上原貞男
Lee, Ha Mooi (李霞妹)	マレーシア	女	日本とマレーシア の教育課程比較	学教	教	大谷光長
Wannapa Prasirtsuk	タイ	女	教育行政	教	教	岸本幸次郎
Nyunt Than	ビルマ	男	英語教育	教	教	垣田直巳
Aung Kyaw	ビルマ	男	英語教育 (教材開発と視聴 覚機材)	学教	助	小篠敏明
Victor Manuel Garcia Montes	メキシコ	男	数学教育	学教	教	岩合一男 岡田禎雄
Genny Mildred Lee Chang	メキシコ	女	教育工学	教	助	吉森護
Edna Maria Romana Castro	ブラジル	女	体育教育	学教	教	勝場勝子 小林一久
第6期 (1985.10.-1987.3.)						
Hemtassilpa Suriya	タイ	男	カリキュラム開発	教	教	武村重和
Kanvong Aporn	タイ	女	大学行政と 教育計画	教	助	二宮皓
Sritrakul Prapaporn	タイ	女	教育経営	教	教	岸本幸次郎 岡東壽隆
Agus Suhardono	インドネシア	男	理科教育	教	教	寺川智祐
Sitohang Mangatur	インドネシア	男	学校経営	学教	教	吉田正晴
Sanchez MA.Mares Resurreccion Peralta	フィリピン	女	特殊教育 (言語障害児教育)	学教	教	岩城謙 講師 谷本忠明
Nang Keing Kham	ビルマ	女	英語教育	教	教	垣田直巳 松村幹男
Li, Hong Jie (李洪杰)	中国	男	日本の高等教育	教	助	二宮皓
Hwang, Yeong Suk (黄英淑)	韓国	女	教育評価	学教	教	河合伊六
Ha, Hun Tae (河憲泰)	韓国	男	障害児のための 体育教育	学教	助	松田泰定
Hinojosa, Zamora Patricia	メキシコ	女	数学教育	学教	教	岩合一男
Guedes Mauricio Ferreira	ブラジル	男	理科教育	教	助	秋山幹雄

HJ. Mohamad Hussain	マレーシア	男	教育評価	学教	教	西山啓
Morazuki Bin Hashim	マレーシア	男	教育経営学	教	教助	岸本幸次郎 岡東壽隆
第7期 (1986.10.-1988.3.)						
Somsit Jistaporn	タイ	男	教育放送	教	教	武村重和
Chutinunt Ittiratana	タイ	女	教育心理	学教	教	西山啓
Rafiah Binti Daud	マレーシア	女	外国語教授方法論	教	教助	奥田邦男 浮田三郎
Jajat Sudrajat	インドネシア	男	日本語教育	教	教	奥田邦男
Lolita Magpayo Andrada	フィリピン	女	社会科教育課程論	学教	教	溝上泰
Reylita Hipolito Valero	フィリピン	女	教育行政	教	教	岸本幸次郎
Daw Aye Myint	ビルマ	女	化学教育法	教	教	秋山幹雄
Zhu Mu Ju (朱慕菊)	中国	女	幼児教育	教	教	森楸
Choe In Hong (崔仁泓)	韓国	男	日本語教育	教	教	大槻和夫
Ju Chung Man (朱璣萬)	韓国	男	日本語教育	教	教	奥田和男
Sin Bong Gyun (申鳳均)	韓国	男	日本文化研究	学教	教	押部佳周
Thelma Laura Tangassi Aparicio	メキシコ	女	小学校教育 (社会科学系)	学教	教	藤井敏彦
Joao Antonio Telles	ブラジル	男	英語教育	学教	教	五十嵐二郎
第8期 (1987.10.-1989.3.)						
Suriyagan Piyamit	タイ	男	教育方法学	学教	教	西山啓
Naranong Laddawan	タイ	女	教育心理学	教	教	鑑幹八郎
Chiewchang Somjin	タイ	女	日本語教育	教	助	縫部義憲
Narkiam Lumpuan	タイ	男	教育行財政	教	教	吉田正晴
Mahmud Mohd Azam Bin Ujang Syuja'i	マレーシア	男	道徳教育	学教	教	大谷光長
Husaini Wardi	インドネシア	男	教育方法学	学教	助	小篠敏明
Sutawikara Elly Setiawan	インドネシア	男	教育方法学	教	教	恒吉宏典
Jardenil Ruby Aguilar	インドネシア	女	日本語教育	教	助	岡崎敏雄
Capili Marina Bubiano	フィリピン	女	特殊教育	教	教	森楸
	フィリピン	女	カリキュラム開発 (物理)	教	教	武村重和
Lu, Yu Chang (路玉昌)	中国	男	教育行政	教	教	名和弘彦
Ko, Sun Young (高順永)	韓国	男	日本文化	教	教	相原和邦
Yu, Hyong Gun (兪炯根)	韓国	男	数学教育	教	教	岩合一男
Aguilar Perez Eduardo	メキシコ	男	初等教育	教	教	吉田正晴
Hino Alba Shioco (日野アルバ詳子)		女	初等教育	学教	教	岡田禎雄 岩崎秀樹
Liberti Gilda Elida	アルゼンチン	女	学校経営	学教	教	西山啓
第9期 (1988.10.-1990.3.)						
Panatkool Viraporn	タイ	女	幼児教育	教	教	森楸
Suvannaboos Somchit	タイ	男	教育課程	学教	教	大谷光長
Promprasit Somboon	タイ	女	教育経営	教	教	青木薫
Tanakulrungsank	タイ	女	化学工学	教	助	秋山幹雄
Irawati Agustine	インドネシア	女	日本語教育	教	教	カッケンブッシュ寛子
Mudjito	インドネシア	男	カリキュラム開発	教	教	武村重和
Llamas Julieta Abrazaldo	フィリピン	女	教育心理	学教	教助	平井誠也 石井眞治

Kang, Jae Sung (姜在成)	韓国	男	教育方法	教	教	奥田邦男
Jang, yong Hee (張龍熙)	韓国	男	青少年問題	学教	教	藤井敏彦
Huang, Ji Hong (黄繼虹)	中国	男	物理	学教	教	西根和雄
Martinez Fariña Alba Ines	パラグアイ	女	数学	学教	教	井藤芳喜
Piña Hernandez Wilivaldo	メキシコ	男	教育方法	学教	教	河部本悟
第10期 (1989.10.-1991.3.)						
Phow Eaimsa-ard	タイ	男	カリキュラム開発 教育課程	学教	教	溝上泰
Chucheep Junpetch	タイ	男	教育経営、 教育行政	学教	教	林孝
Urai Tanskul	タイ	女	家庭経済、 幼児教育	学教	教	丸尾譲
Aurora Matea Adriano Javier	フィリピン	女	障害児教育	学教	教	田口則良
Kim, Kwang Ju (金光柱)	韓国	男	日本語学	教	助	町博光
Young, Kang-Koo (尹岡丘)	韓国	男	日本語学	教	教	沼本克明
Zeng, Li Yun (曾麗雲)	中国	女	日本語、 外国語教育教授法	教	教	縫部義憲
Maimun Ahmad	マレーシア	女	カリキュラム開発 教授法	教	教	武村重和
I Nyoman Ermawan	インドネシア	男	教育方法、幼稚園 カリキュラム開発	教	教	武村重和
Vera Ines Richter	ブラジル	女	教育方法	教	教	寺川智祐
Maria Do Carmo Galvao Teixeira	ブラジル	女	英語教育法、 教育学	学教	助	小篠敏明
Jose Rafael Miranda	ブラジル	男	障害児教育	教	助	松岡重信
Arunee Intrapairot	タイ	女	学校経営	学教	教	佐中忠司

# 外国人留学生日本語研修コース

多和田 眞一郎

創刊号の「日本語研修コース」で述べた「現状」が、観点を換えれば、「歴史」にもなり得るので、その項を参照頂きたい。

第一期から第九期までの修了者名簿をもって「歴史」の代わとしたい。

広島大学外国人留学生日本語研修コース修了者

氏名	クラスでの呼び名	国	生年	専攻	専門教育
第一期 (1985年10月～86年3月) (14人)					
Maneepong, Somsak	ソムサック	タイ	1960	農学	鳥取大学
Djafari-Rouhani, Behzad	ベザット	イラン	1954	数学	広島大学
Al-Haj, Ali Mohammad	アリ	ヨルダン	1963	電気通信工学	鳥取大学
Heraud, Conrad David	コンラッド	ニュージーランド	1959	心理学	岡山大学
Ismail, Mohd Yumus	イスマイル	マレーシア	1955	農学	愛媛大学
Sutrisno Iwantono	イワントノ	インドネシア	1958	農芸化学	岡山大学
Sugama Ketut	スガマ	〃	1956	水産学	高知大学
Jurado, Adonis Basa	ドン	フィリピン	1954	医学	岡山大学
Bandaay, Brenda Cawis	ブレンダ	〃	1956	歯学	徳島大学
Rimando, Agnes Mamaril	アグネス	〃	1957	薬学	広島大学
Al-Adib, Walid	ワリド	シリア	1960	歯学	徳島大学
Gal, Yoav	ヨアブ	イスラエル	1956	農業経済学	愛媛大学
Mohamed, Haggag Ali	ハッガグ	エジプト	1952	生物学	広島大学
Mwatelah, Josphat Kazungu Ziro	ムワテラ	ケニア	1955	土木・建築工学	鳥取大
第二期 (1986年4月～86年9月) (14人)					
Hug, A.H.M Mahbul	ホク	バングラデシュ	1961	医学	徳島大学
Somprasonk, Sukoom	スクム	タイ	1959	法学・政治学	広島大
Teeragool, Gunjama	ガンジャナ	〃	1959	生物学	〃
Supriyo, Haryono	ハルヨノ	インドネシア	1951	農芸化学	愛媛大
Bangun, Hakim	バングン	〃	1951	薬学	徳島大
Zubaydi, Achmad	ズバイディ	〃	1959	船舶工学	広島大
Balaoing, Jose Ganaden	ホセ	フィリピン	1951	農業工学	高知大
Lim, Stephen Lim	リム	〃	1955	歯学	広島大
Zifroni, Abraham	アブラハム	イスラエル	1952	医学	愛媛大
Hegazi, Hegazi Hassan	ヘガジ	エジプト	1953	農学	岡山大
Abdul-Hfiz, Farid Fawzy	ファリド	〃	1952	医学	徳島大
Murage, Hunja	フンジャ	ケニア	1960	農学	岡山大
Mengesha, Tesfaye Gebre	テスファエ	エチオピア	1953	生物学	〃
Kungolos, Atanasios	サイケス	ギリシャ	1961	土木・建築工学	〃



第三期 (1986年10月～87年3月) (13人)

Desugpakul, Wanpen	ワンペン	タ イ	1960	人文科学	広島大学
Hedianto, Umi Cahyaningsih	ウミ	インドネシア	1957	獣医学・畜産学	岡山大学
Busono Suryo	スリョ	〃	1959	経営工学	鳥取大学
Simwanza, Francis Kawala	シムワンザ	ザンビア	1949	薬学	島根医科大学
Arce, Reina Leddy	レイナ	アメリカ合衆国	1963	商学・経済学	香川大学
Herrera, Edgar Roberto	エドゥガール	グワテマラ	1950	医学	島根医科大学
Harger, Orlando Jose Filho	ハーガー	ブラジル	1962	林学	愛媛大学
Hoitinga, Jelmera	メルル	オランダ	1969	獣医学・畜産学	島根医科大学
Myint Swe	ミントゥスウェ	ビルマ	1951	数学	広島大学
Rahman, Azmy Bin Ab	アズミ	マレーシア	1951	理学	愛媛大学
Mohd. Nadzir Bin Don	ナズィール	〃	1957	法学・政治学	広島大学
Abd. Majid, Siti Hawa	スイティ	〃	1962	社会科学	〃
Rosario, Gutierrez Ramos	ロサリオ	スペイン	1960	医学	〃

第四期 (1987年4月～87年9月) (22人)

Khan, Abul Mukib	カーン	バングラデシュ	1958	歯学	広島大学
Suwatupinton, Pannee	パンニー	タ イ	1961	商学・経済学	〃
Yeo, Mary	メアリー	マレーシア	1959	商学・経済学	〃
Yusuf, Irawan	イラワン	インドネシア	1957	医学	〃
Martowibowo, Sigit Yoewono	シギット	〃	1954	機械工学	〃
Landorito, Jose Edquilane	ランドリト	フィリピン	1952	歯学	〃
Federico, Socrates Fradejas	ソクラテス	〃	1957	船舶工学	〃
Cortes, Ramirez Jorge Armando	ホルヘ	メキシコ	1960	機械工学	〃
Analoui, Morteza	アナルイ	イラン	1958	電気通信工学	岡山大学
I Nyoman Widiarta	ウィディアルタ	インドネシア	1958	農学	〃
Kamarddin, Kamsiah	カムスィア	マレーシア	1958	土木・建築工学	鳥取大学
Dealwis, Joan Romaine	ロメイ	スリランカ	1956	商学・経済学	山口大学
Munoz, Nestor Augusto	ネストール	コロンビア	1957	医学	徳島大学
Lim, Lrong Yew (林 龍有)	ロンユー	マレーシア	1958	商学・経済学	香川大学
Faqih, Udin	ファキフ	インドネシア	1958	農学	〃
Agbemabiese, Gideon Gameli	ギデオン	ガーナ	1958	商学・経済学	〃
Mohmood, Ab. Rahman	ラーマン	マレーシア	1953	機械工学	愛媛大学
Asmuni, Azizan	アジザン	〃	1958	農業経済学	〃
Martiz, Alfredo	アルフレド	パナマ	1956	医学	高知医科大学
Juri, Hector Jose	エクトール	ウルグワイ	1957	医学	〃
Retno Indrati	レトノ	インドネシア	1959	食物酵素学	広島大学
Marseno, Djagal Wiseso	ジャガル	〃	1959	食物保存	〃

第五期 (1987年10月～88年3月) (19人)

Muttaqin, Zainal	ザイナル	インドネシア	1957	医学	広島大学
Seno Pradopo	ブラドポ	〃	1952	歯学	〃
Adam, Alia Abd El Moneim	アリア	エジプト	1955	物理学	〃
Diop, Mbarack	ジョップ	セネガル	1960	地学	〃
Cantillon, Sara Anna	セラ	アイルランド	1964	経済学	〃
Moideen, Kunju Abdul Rahim	ラヒム	インド	1961	船舶工学	〃
Munandar	ムナダール	インドネシア	1960	作物機能調節学	岡山大学
Mechi, Abdallah Ben Mohamed	ミシ	チュニジア	1961	電気通信工学	〃
Achife, Chukwura Emmanuel	アチフェ	ナイジェリア	1963	工業化学	〃

Castano-Tostado, Eduardo	エドゥワルド	メキシコ	1958	生産機械工学	〃
Siqueira, Thomaz Decio Abdalla	トマイシ	ブラジル	1959	心理学	〃
Masuda, Catalina Yumi	ユミ	コロンビア	1965	細菌学	〃
Haque, Md. Ejajul	ホク	バングラデシュ	1954	医学	鳥取大学
Sarikaputi, Meena	ミーナ	タイ	1961	獣医・畜産学	〃
Chan, Tong Seng	チャン	マレーシア	1954	農業経済学	〃
El Melaik, Abdulla Mohammed Ali	アブドゥラ	スーダン	1953	獣医・畜産学	〃
Abu-Musa, Antoine Albert	アントワーヌ	レバノン	1959	医学	島根医科大学
Sintuvorasat, Prayoon	プラユーン	タイ	1963	経済学	山口大学
Sharma, Jitendra Kumar	クマール	インド	1951	工学	〃

第六期 (1988年4月～88年9月) (23人)

Siddiqui, Hamid Latif	シディキ	パキスタン	1957	化学	広島大学
De Costa, Rowan St. G. Shahane	シャヘン	スリランカ	1963	土木・建築工学	〃
Boonprakorb, Warunee	ワルニー	タイ	1957	教育学	〃
Ong, Peng Hong	オン	マレーシア	1956	商学・経済学	〃
Mohd. Yassin, Khamis B.	カミス	〃	1954	工学	広島大学
Almarsyah Djardjis Betha	ベータ	インドネシア	1956	機械工学	〃
Alawa, Aiman	アイマン	シリア	1963	土木・建築工学	〃
Flores-Aquilar, Maria Dolores	マリア	メキシコ	1962	船舶工学	〃
Kafati, Nadim	ナディム	ホンジュラス	1952	電気通信工学	〃
Pinto Dos Santos, Jose M. D. L.	ピント	ポルトガル	1963	商学・経済学	〃
Perna, Ludos	ルボシュ	チェコスロバキア	1956	機械工学	〃
Uddin, Md. Azhar	アズハ	バングラデシュ	1961	応用化学	岡山大学
I Ketut Sumiartha	スミアルタ	インドネシア	1956	農学	〃
Catalan, Maria Antonina Batac	アントニーナ	フィリピン	1767	生物学	〃
Demirci, Salim	サリム	トルコ	1958	医学	〃
Sanossian, Aznive Yusef	アズニブ	ヨルダン	1959	商学・経済学	〃
Nsunge, Felix Chintu	スング	ザンビア	1956	機械工学	〃
Thawornwong, Lopachoke	ロパチョーク	タイ	1962	林学	鳥取大学
Yaman, Pauzi B.	パウジ	マレーシア	1957	農業経済学	〃
Animas, Samuel Baltazar	サミー	フィリピン	1956	獣医・畜産学	〃
Duenas, Sergio Adrian	セルヒオ	アルゼンチン	1962	土木・建築工学	山口大学
Agus Eko Tjahjono	アグス	インドネシア	1956	発酵工学	広島大学
Nadirman Haska	ナディルマン	〃	1950	食糧科学	〃

第七期 (1988年10月～89年3月) (18人)

Zen, Freddy Permana	ゼン	インドネシア	1961	物理学	広島大学
Sicard, Etienne	エティエンヌ	フランス	1961	電気通信工学	〃
Rustamani, Maqsood Anwar	ルスタマニ	パキスタン	1958	農学	岡山大学
Islam, Mohammad Nazrul	ナズル	バングラデシュ	1959	農業工学	〃
Sunyoto	スニョト	インドネシア	1955	農学	〃
Missana, Liliana Raquel	リリアナ	アルゼンチン	1957	歯学	〃
Prokop, Jiri	プロコップ	チェコスロバキア	1953	工学	〃
Sofikitis, Nikolaos	ニコラオス	ギリシア	1962	医学	鳥取大学
Rasyidin, Azwar	アズワル	インドネシア	1956	農学	島根大学
Lili, Warly	リリー	〃	1060	獣医・畜産学	〃
Gonzalez Biosca, Maria Dolores	ローラ	スペイン	1959	医学	島根医科大学
Pua, Shirley Cambel	シュリー	フィリピン	1956	医学	山口大学
Raja Nazirin, Shah Raja Mohamed	ラジャ	マレーシア	1963	商学・経済学	香川大学

Kitroongruang, Niramit	ニラミット	タイ	1955	農芸化学	愛媛大学
Bambang, Irawan	イラワン	インドネシア	1955	生物学	〃
Tautho, Celso Cabahug	タウト	フィリピン	1955	農業経済学	〃
Nshombo, Muderhwa	ションボ	ザイール	1953	生物学	〃
Ofoche, Chukwudi Emmanuel	オフォチェ	ナイジェリア	1958	農学	〃

第八期 (1989年4月~89年9月) (20人)

Ahmed, Amran	アムラン	マレーシア	1959	医学	広島大学
Achirudin, Dony	ドニー	インドネシア	1960	船舶工学	〃
Maghrebi, Mahmoud Faghfour	マグレビ	イラン	1961	土木・建築工学	〃
Bettaieb, Alaya	アラヤ	チュニジア	1958	商学・経済学	〃
Mungai, Joyce Wanjiru	ムンガイ	ケニア	1956	社会自然科学	〃
Marquez, Rocha Facundo Joaquin	マルケス	メキシコ	1959	農芸化学	〃
Matayoshi, Alicia Beatriz	アリシア	アルゼンチン	1963	歯学	〃
Dhar, Dipok Kumar	ディポク	バングラデシュ	1961	医学	島根医科大学
Siregar, Erwin	エルウィン	インドネシア	1955	歯学	岡山大学
Francisco, Irma Alcantara	フランシスコ	フィリピン	1954	歯学	〃
Vu, Thuy Thi	トゥイ	ベトナム	1955	農芸化学	〃
Ahmed, Atallah Fouad Ali	アッタラー	エジプト	1956	薬学	〃
Jimenez, Luis Felipe Squella	ヒメネス	チリ	1955	歯学	〃
Mingorance Cruz, Jesus	ミンゴランセ	スペイン	1963	生物学	〃
Yong, Bun Fou	ヨン	マレーシア	1955	商学・経済学	山口大学
Santos, Marta Staico De Andrade	マルタ	ブラジル	1966	商学・経済学	〃
Agus Masduki	アグス	インドネシア	1962	発酵工学	広島大学
Hardoyo	ハルドヨ	〃	1957	〃	〃
Teddy	テディ	〃	1961	交通土木工学	岡山大学
Supriyono	スプリヨノ	〃	1958	電子情報工学	愛媛大学

第九期 (1989年10月~90年3月) (18人)

Imdadullah	イムダド	パキスタン	1954	応用化学	広島大学
Lalarukh, Kamal	ラルルク	〃	1956	物理学	〃
Choudhury Ahmed Murtaza	チョドリ	バングラデシュ	1957	医学	鳥取大学
Ismail, Nasir	ナセル	マレーシア	1963	工学	島根大学
Pidlaoan, Evangeline Rosario	エバンジェリン	フィリピン	1961	歯学	徳島大学
Tajjik, Parviz	パルビズ	イラン	1954	獣医・畜産学	岡山大学
Aughsteen, Adib Abdulahad	アディブ	イラク	1955	医学	広島大学
Gassim, Ahamed Eliass Hussain	アハマド	サウジアラビア	1956	薬学	岡山大学
Mahmoud, Mohamed Abd El Hakeem	マハムド	エジプト	1959	生物学	〃
Ali Abdelbagi, Mukhtar	アリ	スーダン	1960	農学	鳥取大学
Sifer, Mark John	サイファ	オーストラリア	1962	電気通信工学	広島大学
Guimares Junior, Geraldo De Assis	ジェラルド	ブラジル	1962	電気通信工学	〃
Fernander, Edrisi De Araujo	エドリシ	〃	1965	医学	岡山大学
Moreira, Luis Fernand	モレイラ	〃	1960	医学	〃
Teixeira, Claudio Rolim	クラウジヨ	〃	1963	医学	広島大学
Eyjolfsson, Eythor	イーサー	アイスランド	1963	文学	〃
Kroumav, Valeri Todorov	パレリ	ブルガリア	1958	電気通信工学	岡山大学
Monnin, Marc	モニン	フランス	1964	応用化学	〃

## 日本語研修コース関係講師一覧

### 第一期 1985年10月～1986年3月

専任	多和田 眞一郎	金本 節子		
非常勤	位 藤 邦 生	迫 田 久美子	難 波 久 佳	
	尾 形 昭 逸	杉 山 和 男	中 川 平 介	
	門 田 博 知	矢 口 礼 偉	南 博 文	

### 第二期 1986年4月～1986年9月

専任	多和田 眞一郎	金本 節子		
非常勤	位 藤 邦 生	迫 田 久美子	難 波 久 佳	
	石 井 修	石 橋 貞 彦	石 渡 智 雪	
	尾 形 昭 逸	小 林 泰 夫	清 水 凡 生	
	和 田 卓 郎			

### 第三期 1986年10月～1987年3月

専任	多和田 眞一郎	金本 節子		
非常勤	位 藤 邦 生	迫 田 久美子	千 葉 苑 子	
	黒 木 英 憲	高 木 幹 雄	辻 守 康	
	寺 西 泰 弘	藤 越 康 祝	藤 田 耕之輔	
	三 邊 誠 夫	村 上 誠	山 田 浩	

### 第四期 1987年4月～1987年9月

専任	多和田 眞一郎	長 友 和 彦		
	浮 田 三 郎	上 原 麻 子		
非常勤	位 藤 邦 生	上 野 智 子	菊 地 圭 子	
	迫 田 久美子	中 川 正 弘	西 村 浩 子	
	小坂田 宏 造	鹿 山 光	瀬 山 一 正	
	高 田 和 彰	藤 田 耕之輔	山 下 彰 一	

第五期 1987年10月～1988年3月

専任	多和田 眞一郎	長 友 和 彦	
	浮 田 三 郎	上 原 麻 子	
非常勤	位 藤 邦 生	上 野 智 子	迫 田 久美子
	中 川 正 弘	西 村 浩 子	
	魚 住 徹	尾 形 昭 逸	児 玉 憲 一
	竹 内 常 善	長 坂 信 夫	

第六期 1988年4月～1988年9月

専任	多和田 眞一郎	長 友 和 彦	上 原 麻 子
	浮 田 三 郎		
非常勤	位 藤 邦 生	迫 田 久美子	戸 田 利 彦
	中 川 正 弘	西 村 浩 子	
	井 内 康 輝	井 上 詔 三	太 田 欽 幸
	片 島 三 朗	小 村 衆 統	嶋 津 孝 之
	菅 隆 幸	鑪 幹 八 郎	

第七期 1988年10月～1989年3月

専任	多和田 眞一郎	長 友 和 彦	上 原 麻 子
	浮 田 三 郎		
非常勤	位 藤 邦 生	迫 田 久美子	戸 田 利 彦
	中 川 正 弘	西 村 浩 子	
	尾 形 昭 逸	梶 原 博 毅	樹 下 行 三 夫
	高 哲 男	藤 田 耕 之 輔	細 谷 暁 夫

第八期 1989年4月～1989年9月

専任	多和田 眞一郎	長 友 和 彦	上 原 麻 子
	浮 田 三 郎	深 見 兼 孝	
非常勤	位 藤 邦 生	迫 田 久美子	戸 田 利 彦
	中 川 正 弘	西 村 浩 子	
	岩 田 光 正	遠 藤 拓 郎	尾 形 昭 逸
	津 留 宏 道	永 井 史 郎	山 下 彰 一
	吉 永 文 隆		

第九期 1989年10月～1990年3月

専任	多和田 眞一郎	長 友 和 彦	浮 田 三 郎
	深 見 兼 孝		
非常勤	今 石 正 人	迫 田 久美子	戸 田 利 彦
	中 川 正 弘	西 村 浩 子	
	市 川 忠 男	尾 形 昭 逸	梶 山 悟 郎
	片 岡 勝 子	熊 丸 尚 宏	松 田 治 男